



シード  
**SEED**  
(種子・種をまく)

令和 4年 12月 20日

一中学校だより

12月号

寝屋川市立第一中学校  
校長 林 浩子

## 自分の未来に向けて、たゆまぬ努力を！ ～2022年の自分を振り返り、希望の新年を迎えよう～

2022年FIFAサッカーワールドカップにおける日本チーム【SAMURAI BLUE】の善戦が報道でも大きく取り上げられています。遠く離れたカタールという異国の地での試合は、日本では深夜や早朝に放映されましたが、みなさんの中には睡眠時間を削って応援した人もいることでしょう。世界の強豪が多く含まれる予選のリーグに入り、1勝することも難しいのでは…と言われていましたが、その予想を大きく覆し、世界ランキング上位チームであるドイツに勝利し、クロアチアに惜敗するもその後のスペインに打ち勝つという奇跡のような試合を示してくれました。普段、サッカーに興味があるなしにかかわらず、多くの人々がこの試合を応援し、選手達の最後まであきらめない姿勢や、仲間と力を合わせて一つの夢に向かって進み、汗と涙を流す姿に感動したことでしょう。



君たちにとっての2022年はどんな1年になったでしょうか？中学生にとっての1年(365日)は、大人になってからの1年とは比べものにならぬほど、毎日が成長の連続であり、新しい知識や技能、考え方などを吸収するしなやかさや可能性があります。まるで水を吸い込むスポンジのようです。ちょっと想像してみてください。スポンジは、水に放り込むだけで吸収するのでしょうか？水を張った水槽にスポンジをそっとのせると、水を吸い込むというより、水面に浮かんでしまいます。スポンジが水(知識や資質能力)を吸い込むためには、グッと力(練習・努力)をためて体を縮ませたりよじらせたり(試練や挑戦)してこそ、多くの水を吸収できるのです。



3年生は、新年を迎えると本格的な受験シーズンを迎えます。卒業までのカウントダウンです。中学校を卒業後にどんな進路を選ぶとしても、それは自己の選択であり、自身の努力で切り開くしかありません。スポンジのような君たちが、これまで一中で過ごす三年間で学んだこと、身をよじらせて努力し吸収したものを、思う存分発揮してほしいと願っています。

勝っても負けてもそれが自分たちの実力と受け止める潔さと、全力を出し切ったと語るサッカー選手の姿は清々しい笑顔があふれていました。君たちも、今年一年の自分を前向きに振り返り、迎える新たな年に、自分の夢をかなえるための目標を掲げていってほしいと思います。



## 中学生の主張

12月10日(日)、市民会館で第22回中学生の主張表彰式が行われました。一中からは一年生2名が受賞し、うち優秀賞の生徒が大ホールの大勢の聴衆の前で、堂々と自分の作品を読み上げ、発表者の中の一番手という大役を見事果たしました。



## 新体育倉庫の設置

昨年度、旧校舎(旧音楽棟)を解体しましたが、その場所に、新たな体育倉庫を2つ設置しました。一つは授業で扱うハンドボールなどの体育用具を、もう一方は部活動で使うサッカーボールなどの道具を保管できるようになりました。



## 校内の掲示を物紹介します

校内には、生徒の学習のがんばりを認め合い、互いに高め合えるように、さまざまな教科の作品が掲示されています。



## 1月 主な予定

- 9日(月):成人の日
- 10日(火):始業式
- 11日(水):給食開始  
1・2年チャレンジテスト、3年実力テスト
- 12日(木):生徒会専門委員会、PTAバレー
- 13日(金):生徒朝礼
- 17日(火):PTAあいさつ運動、学校評議員会
- 19日(木):PTAバレー
- 20日(金):英検
- 25日(水):3年生学年末考査(~27日(金))
- 26日(木):命の出前授業(1年)、PTAバレー
- 31日(火):生徒会専門員会

※状況により、変更する可能性があります。

## ← 職業講話を行いました

12月7日(水)に、2年生で職業講話を行いました。8つの業種の講座を開き、その仕事の魅力や大変さなどを聞きました。実際に働いておられる方のお話を直に聞くことによって、社会人として働くことの意義などを考え、将来の職業観を養う貴重な時間となりました。